＜新聞広告総合ウェブサイト「新聞広告データアーカイブ」記事資料＞

2014.8.6

　新聞協会広告委員会は８月６日、プロモーションサイト「新聞広告データアーカイブ」（http://www.pressnet.or.jp/adarc/）を大幅にリニューアルした。スマートフォンやタブレットでの表示に支障を来さないよう仕様を変更したほか、掲載する広告事例が1000件に達したことを機に検索機能をさらに充実させた。トップページには前月のアクセスランキングを表示し、アクセスが多いページへの閲覧を促すバナーを配置した。

　アーカイブは2001年に開設、新聞協会や新聞各社に点在していたデータを体系的に収録し、新聞社だけでなく広告主、広告会社のメディアプランニングやマーケティング活動をサポートするサイトとして活用されている。アクセス数は緩やかな上昇傾向にあり、最大で１日2000ページビュー。近年はスマートフォンやタブレットでの閲覧が増えている。

　掲載している情報・データは次のとおり。

◇新聞広告事例

◇メディア接触や発行部数などの調査データ

◇広告の制作・入稿規定、N-SIZE（日本新聞協会推奨制作サイズ）などEDI関連

◇新聞広告賞、新聞広告クリエーティブコンテストなどのコンテスト入賞作品

◇用語集

◇機関誌『新聞広告報』　　　など

　広告事例はテーマ、手法、業種など様々な角度から検索できる。例えば、テーマからの検索では①企業のブランディング②販売促進・集客③読者や社会とのコミュニケーション④地域を育てるなど７項目、手法では①クロスメディア②変型・多ページ・マルチ・ラッピング③イベント連携④人気コンテンツとの連動など７項目をそれぞれ設定。これらの改訂により、見たい広告に効率的にアクセスできるようになった。

　広告委員会は今後、アーカイブのＰＲを強化するとともにリンクを拡張するなどして、利用促進をはかる。

以　　上